

草潤中に30万円 多様な学び応援 ぎふしん記念財団が寄付

岐阜信用金庫の公益財団法人ぎふしん記念財団(住田裕綱理事長)は草潤中学校(岐阜市金宝町)の保護者と学校職員でつくる「草潤中学校サポーターズ」に「新たな学び応援資金」として30万円を寄付した。

同校は主に不登校を経験した生徒が通う、市立の学びの多様化学校。寄付金は、イラストの描き方を学ぶためのイラストレーターや、バイオリン演奏を習うためのバイオリン奏者など外部講師を招く授業の運営費に充てる。

同校で贈呈式があり、財団の光崎修常務理事が鷺見

佐知校長とサポーターズの下山祥子会長に目録を手渡し、「子どもたちの居場所をつくって。自由に幅広く使ってもらえたら」とあいさつした。鷺見校長は「子どもたちが自分が好きなこと、得意なことを見つけれよう、寄付金を活用して多くのことを経験させてい」と述べた。

(大賀由貴子)



草潤中学校サポーターズに寄付をしたぎふしん記念財団の光崎修常務理事(右から2人目)ら。岐阜市金宝町、草潤中学校